

お 知 ら せ

日本財団助成事業 災害時医療支援船構想報告講演会

- 日 時 平成18年2月12日(日曜日)
14時00分～17時30分
- 会 場 東京都品川区東八潮3番1号
お台場：船の科学館マリンホール
- 参加費 1,000円
(日本透析医会会員以外でも参加できます)
- 連絡先 東京都千代田区神田須田町1-15-2
社団法人 日本透析医会
TEL 03-3255-6471

災害時医療支援船構想報告講演会参加申込書

2月9日までにお知らせ願います

《ご施設名》

《ご住所》

《ご参加予定人数》

名

〔FAX送付先〕 社団法人 日本透析医会 事務局
03-3255-6474

首都直下型地震と医療

災害時、医療は何をなすべきか？ 阪神における災害時医療支援船の経験から

1. 開会のことば 日本透析医会 会長 山崎親雄

2. ごあいさつ
「都市型災害対応に望むこと」
日本透析医学会 理事長 斎藤 明

3. 問題提起
「東京直下型地震とは何か？
その時、医療は何をなすべきか？」
日本透析医会 災害時透析医療対策部会 赤塚東司雄

4. 報告1
「東京都の透析施設における災害への取り組み」
東京23区における取り組み
東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 教授 秋葉 隆

東京三多摩地域における取り組み
日本透析医会 専務理事 杉崎弘章

5. 講演1
「東京都における災害時の医療に対する取り組み
都市型災害をふまえて」
東京都福祉保健局医療政策部 部長 丸山浩一

■日 時
2006年2月12日(日)
14:00~17:30

■会 場
お台場:船の科学館マリンホール
東京都品川区東八潮3番1号
(新交通「ゆりかもめ」新橋駅より16分
船の科学館駅下車)

■参加費 1,000円



6. 再び問題提起
「慢性疾患患者に対する災害対策に何が求められているか？」

7. 講演2
「災害時の慢性疾患患者、障害者、要支援者に対する対応についての国の施策」
内閣府政策統括官(防災担当)付
災害応急対策担当参事官補佐 丸山直紀

8. ビデオ上映
「災害時医療支援船構想」

9. 報告2
「阪神地域における災害支援船運用航海事業」
船舶側からの報告 神戸大学海事科学部 教授 井上欣三
医療側からの報告 日本透析医会 常務理事 山川智之

10. 閉会のことば
日本透析医学会 危機管理小委員会委員長 内藤秀宗

- 主 催 日本透析医会
- 共 催 日本透析医学会
神戸大学海事科学部
災害時医療連絡協議会
- 協 力 中外製薬株式会社 ほか